

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	ガーデンコート千葉さつきが丘		
所在地	千葉県千葉市花見川区畑町73番		
自己評価作成日	平成26年11月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成26年12月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>日中は施設内のドアを開放し、お客様に開放感を与えられるよう気をつけています。最近ではお客様と外食に出かける計画や、カラオケに出かける計画なども考えています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「施設全体が輪になり、皆が楽しく過ごせる環境を目指そう」をホームのスローガンとし、1・2階の利用者の交流、職員間の情報共有の強化を目指し、開放的なホーム作りを目指している。特に今年度は、毎月の外出支援に力を入れて取り組み、音楽鑑賞会や近隣のファミリーレストランへの外出等に取り組んでいる。また、地域の商店街への買い物や近隣小学校の運動会の見学等を通して地域との関わりも増加している。今後はより一層の地域交流の充実と職員の質の向上に向け、特に新人職員に対する育成方針の明確化に取り組むこととしている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「施設全体が輪になり、皆が楽しく過ごせる環境を目指そう」をスローガンとし職員自身が楽しめる職場作りをし、お客様により良いサービスを提供できるように日々努めています。	スローガンをフロアに掲示している。スタッフ全員が「輪」を大切に思い、スタッフやご利用者の輪、そして施設全体の輪をもってアットホームな施設にと理念を共有し、1階と2階のご利用者の交流や職員間の一層の情報共有の強化を目指してサービスにあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お客様と近くの商店街へ買い物に出かけていき、商店街のイベントなどがあれば参加させて頂いています。	ご利用者とスーパー、商店街での買い物やイベントへの参加、近隣小学校の運動会、地域ボランティアの音楽鑑賞会、実習生の受け入れなど、地域との付き合いは増加しており、今後の交流も一層期待したい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	商店街の方々に挨拶をさせて頂き施設のことを知って頂く様に勤めます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、畑町の地域交流が取れていなかったためさつきが丘の自治会長様からの進めで畑町の民生委員と交流を持たせていただけるようになりました。	2ヶ月に1度開催され、地域包括センター、市担当者、自治会長、ご利用者家族代表、民生委員などが出席し、利用者やサービス、ホームの運営取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	畑町の民生委員の肩に運営推進会議にご出席頂きこちらの活動等を報告しています。	市の主催する研修や集団指導には必ず参加しているほか、運営上の疑問があれば、直接指導を受けるようにしている。地域包括センターとは運営推進会議へのご出席を通じて相談・指導を受け、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内の施錠があるドアは日中は開放しお客様が自由に行き来できる開放的な施設を心掛けています。	身体拘束・高齢者虐待防止について、ホーム内研修を11月に実施し、スタッフ全員が身体拘束をしないケアを実践している。玄関の施錠を含め、身体拘束の事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	職員がお客様と接していくにあたって虐待について理解した上で対応してくれています。今後も意識を維持していく為に研修を行っています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後拠点会議時に研修を行い職員に理解指定いただき活用できるよう努めます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、契約書及び重要事項説明書の内容を管理者が説明しています。ご家族様にご理解されるまで疑問点等は都度お答えします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様、ご家族の要望を聞き入れそれをスタッフにも相談し意見の交換を行っている。話し合った内容を現場に反映させてサービス向上につなげています。	「顧客満足度調査」を年1回実施し、ご家族等のご意見聴取の機会を持っている、また運営推進会議へのご出席時、イベント開催時の来訪や面会時には積極的に意見や要望を伺う機会を設け、これらの意見要望は吟味の上、運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	拠点会議、常勤会議を行い管理者、スタッフ間の意見の交換場を作りサービス向上につなげています。	日常的に声かけにより話を聞いたり、朝の申し送り時にスタッフの意見や提案を聞き、話し合う機会を設けている。また拠点会議や常勤会議において意見交換を行って収集し、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働く上で研修を行い又、お客様との外出を企画するなど職員自身も楽しんで働けるような工夫をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な社内研修を設けており、それ以外にも社外研修にも参加してもらうよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新人の職員については一ヶ月に1回他拠点の新人職員と合同で研修を行い交流の場として取り入れています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様の希望を尊重しお客様が納得しかつ安全なサービスを提供できるよう努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様自身のご希望とご家族のご希望を聞き、お客様にとって最善のサービスを提供できるようご家族との話し合いをもとに考えて生きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様にとって最善のサービスを提供できるようさまざまな方からの意見を参考にしその中で最良の意見を活用しサービス提供できるよう努めます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活において職員と共に料理、洗濯、買い物等を一緒に行うよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にお客様の様子がわかるように写真つきのお便りを毎月送らせて頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様の以前お付き合いのあったご友人様がよく来訪してくださったり、ボランティアで演奏をしてくださったりして頂いています。	馴染みの人や場との関係継続の支援については、馴染みの理髪店での整髪や友人の来訪や友人への訪問、サークルへ通うなどご家族など協力を得て、本人の状態や要望に応じて支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関わりを持って頂く為に、フロアでレクリエーションなどを行い皆様が一緒に過ごせるよう工夫しています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した後も何かあった際には気軽に相談にきて頂けるような施設を目指すよう努めます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様のご意向を第一優先に考えこちらでどのように生活を送っていただくかを常に考えています。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握は日常的な会話やご家族の要望の聴取時にその把握に努めている。その把握が困難な場合は、本人本位に検討しご家族と相談のうえ、実行している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、介護サマリーを書面にし、職員に把握してもらう形を作っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の様子や状態などを個人記録に記入し他の職員にも伝えられるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	お客様のご意向やご本人の現状を把握したうえでよりよい生活が送れるよう考えアセスメントを作成しています。	アセスメント作成し、担当者会議には提携先クリニック医師が参加し、意見を抽出反映、仮ケアプラン作成、ご利用者やご家族説明時に仮ケアプランを提示し話し合い、それぞれの意見を反映しケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態、変化など個人記録に記入し毎日の様子がわかるようにしています。またどの職員が見ても一目でわかる工夫をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その日その時でお客様の招待は変化しますのでその都度合わせた柔軟な対応を心がけています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お客様のお知り合いで音楽活動をされている方がおり、そのお客様に企画していただきお知り合いからお誘いを頂近所の公民館で音楽鑑賞をするなどしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療はご家族にも情報を提供し納得してもらったうえで往診してもらっています。	ホームの主治医として提携先医療機関を設け、2週間に1回の往診があり、急変時においても24時間体制の連携が取れ、迅速な対応を図れる仕組みとしている。訪問マッサージ、訪問歯科の協力も得られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様に変化などが見られた際はその都度担当医に連絡し往診時に診てもらえるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されている病院に定期的に訪問、またご家族から連絡をいただき常に新しい情報を収集し、状態、様子を把握するよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との話し合いでご家族の要望に沿った支援をこちらが出来る限り行っています。	重度化した場合や終末期のあり方について、契約時や早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを説明している。実際の対応については個別にご家族、主治医と連携しその後の方針を決定していくことになる。	重度化や終末期のあり方については、契約時に説明しているが、今後に向けては、看取りの指針をより明確にされることも必要であろう。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は連絡する病院を把握し段取りも章句員全体がわかるようにしています。応急処置等は今後定期的に講習会を開き、高い意識を持ってもらうように努めます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行っていますが今後も実践的な講習を行いスタッフに高い意識をもってもらうよう努めます。	9月に消防署と連携した夜間想定のお知らせ訓練、避難訓練を実施している。災害時に備え、備蓄品として水、カセットコンロ、電池、ラジオを保管している。	今後に向けては、災害時や緊急時における連絡体制の構築及び備蓄品に関して賞味期限が切れている物について新たに補充する等の取り組みも必要であろう。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員には意識を持って業務に当たってもらっていますが、今後も職員に声をかけ意識付けに努めます。	研修ではスタッフがご利用者役となり、他のスタッフの声かけをどう感じるかの試みなどを行っている。接遇マナー、声かけについて、スタッフ全員に周知徹底しており、不適切な言動はその都度注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様に必ず意思の確認をし、納得して頂いたうえで対応させて頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の意向を第一優先に考え、お客様のペースに合わせた生活を送っていただくよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なかなか外に出られない方々は訪問美容に来て頂き、いきつけのお店がある方は日程を組みそのお店に行っていただくような対応をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の能力を把握し出来るだけ皆様にお料理のお手伝いをしていただくよう心がけています。	外部からの食材の配達を受け、配達された食材を利用者と共にチェックしたり、食器洗いや盛り付けなどにも参加できるよう支援している。食事を楽しむ取り組みでは、外食も取り入れ、今後は要望が多いお寿司の外食も予定している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録に残し、変化があるようであれば提携医療に報告し指示をもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口空ケアを行い、就寝時は必ず義歯を洗浄剤に浸けています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄をして頂くよう心掛けています。	ご利用者毎の個人日誌に排泄表があり、日々排泄状況を記録している。日中は声かけによりトイレに誘導して排泄するように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方は訪問マッサージの方から個々の能力に合わせた体操のメニューを考えて頂き、職員が教わりお客様に提供しています。それでも排便がない場合は担当医に相談し対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お客様によっては職員が入浴日を決めている方もいます。出来る限りはお客様のご意向に沿った入浴を心掛けます。	入浴は週2～3回を基本としている。入浴中は安全性を確保するため職員が介助につき、その様子等のご利用者の個人日誌に入浴記録として残している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様のタイミングでお休みになっていただくようにはしていますが、昼夜逆転の恐れもあるのでそうならないよう適度な声掛けはしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬は職員にもわかるようお客様の処方箋をファイルにまとめ職員全員が観覧できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様の楽しみを尊重し、役割を持って頂きお手伝いをして頂いたり、買い物、音楽の鑑賞会、外食会などを行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	音楽の鑑賞会に招待して頂いたり、定期的に外食会を行っています。地域の運動会や小学校の行事にも参加させて頂いたりしています。	天気の良い日は近隣の散歩や職員と近隣の商店街まで買い物に出かけている。また、音楽鑑賞会や餅つき、小学校の運動会や行事などに出かけたり、ご家族と一緒に買い物等に出かける等、外の空気に触れることができるように個々の状態に合わせた支援に取り組んでいる。	

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお小遣いをお預かりしており、お客様が欲しいものがあつた際にはお客様をお連れしてお買い物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様から要望があればお電話やお手紙を書いて頂いたりしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアの施錠は日中は開放しお客様が自由に行き来できるようにしています。また、フロアやエントランスには季節感を出す為に季節に合わせた装飾を行っています。	共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮され、行事や季節に合わせて装飾したり、掲示をして生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	職員同伴ではありますが、広いベランダがあり自由に行き来して頂いたり、時にはフロアにてお客様同士がお話をする様子もみられます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はお客様が過ごしやすいようご家族と話し合いご本人の馴染みのあるものを搬入したり工夫しています。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのもを活かし、なかには自分で描いた絵や写真など装飾している。ご利用者が居心地よく過ごせるように職員が整理整頓に努めるなど支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアの施錠を開放し、時には1F2Fのお客様が触れ合える機会を作っています。		